

令和5年度事業報告

I 総括

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

特別国民体育大会（鹿児島国体）に向けて、強化練習・遠征等の競技力向上対策に取り組んだ。この結果、第44回北信越国民体育大会では、本国体出場権を63種目獲得することができた。本国体では、36競技で入賞し、総合得点1,286点を獲得（参加点400点含）、天皇杯14位および皇后杯11位となり目標としていた10位台を達成できた。競技団体代表者との意見交換も行いながら、県、県スポーツ協会、競技団体等が一体となって、目標達成に向けて競技力向上対策を推進した。また、第78回国民スポーツ大会冬季大会では、天皇杯28位と健闘した。

地域スポーツの振興として、県内各地で県民スポーツ祭を開催した。また、市町スポーツ協会や競技団体等の活動助成や、スポーツ少年団および総合型地域スポーツクラブ等の育成支援を行った。日本スポーツマスターズ2023、ふくい桜マラソン2024の開催に向けて、福井県との連携・協力を一層進めた。

II 事業内容

1 競技力向上事業

(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力向上を図るため、各事業を積極的に取り組んだ。

事業名	内容
国体強化対策事業	競技団体に対し、当年大会に向けた強化費を補助した。 <u>41 競技</u>
プレ強化事業	競技団体に対し、次年大会に向けた強化費を補助した。 <u>26 競技</u>
アスリートのU・Iターン推進事業	①県内の強豪高校の選手に対し、下宿費を補助した。 <u>76名（14 競技）</u> ②オリンピックを目指す県内選手に対し、活動費を補助した。 <u>4名（4 競技）</u>
ふくいナショナルアスリートマルチサポート事業	スポンジオブふくい等で県内就職した日本代表級の選手に対し、競技活動費を補助した。 <u>8名（5 競技）</u>
トップ指導者育成事業	競技団体で今後の中核的指導者になり得る若手指導者に対し、資質向上研修を実施した。 ・令和5年12月10日 福井県営体育館 18名 ・令和6年2月10日 福井県営体育館 11名 ・令和6年3月9日 福井県営体育館 16名 ・令和5年度 県外研修（個人）24名

<p>未来のアスリート発掘・育成事業</p>	<p>①合同競技体験会の実施 子どもたちの才能や可能性を発見するため、普段触れることのない競技（14 競技）の体験会を実施した。 ・令和 5 年 7 月 2 日 福井県営体育館 237 名</p> <p>②ふくいジュニアアスリートアカデミーの実施 トップアスリートを目指す子どもたちに対して、年間を通じて、スポーツに関する身体的・知的能力等を高める育成プログラムを（6 年生 13 回、5 年生 17 回）提供した。 また、次年度アカデミー受講生の選考会（100 名）を開催し、県内各地から身体的能力の高い子どもたちを発掘した。 <u>選考人数 34 名</u></p> <p>③競技団体の備品整備 ふくいジュニアアスリートアカデミーに参画する競技団体に備品整備費を補助した。<u>6 競技</u></p>
<p>ジュニア育成強化事業</p>	<p>①競技団体に対し、ジュニアの人材発掘・育成費を補助した。 <u>37 競技</u></p> <p>②競技団体に対し、年間を通じて活動する、U-15 セレクションチームの活動費を補助した。<u>17 競技 24 チーム</u></p>
<p>小・中学生優秀クラブチーム強化事業</p>	<p>全国大会に選手を多く輩出している小中学生所属の優秀なクラブチームに対し、活動費を補助した。 <u>小学生 19 チーム（15 競技）・中学生 14 チーム（12 競技）</u></p>

(2) 積善会スポーツ振興事業

積善会助成金を活用し、少年選手のスポーツ振興に取り組んだ。

事業名	内容
<p>ジュニアアスリートサポート事業</p>	<p>国際大会等に日本代表として出場するジュニア選手に対し、激励金を交付した。<u>20 名（5 競技）</u></p>

(3) 関係会議等開催事業

スポーツ関係団体との連携・協力を図るため、諸会議を開催した。

会議名	内容
<p>競技力向上対策委員会</p>	<p>国民体育大会に向けた競技力向上対策を検討した。 ・令和 5 年 6 月 22 日 福井県営体育館 ・令和 5 年 11 月 10 日 福井県営陸上競技場</p>
<p>国民体育大会 入賞対策会議（県と共催）</p>	<p>各競技団体と当大会の上位入賞に向けた強化対策を確認した。 ・令和 5 年 6 月 28 日 福井県営体育館</p>
<p>国民体育大会 結果検討会（県と共催）</p>	<p>当大会における本県選手団の結果の総括および次大会に向けた強化対策を協議した。 ・令和 5 年 12 月 1 日 国際交流会館</p>
<p>競技力向上対策事業説明会</p>	<p>競技力向上対策の具体的方策を情報提供した。 ・令和 6 年 3 月 14 日 福井県営体育館</p>

2 国体等派遣事業

(1) 国体派遣事業

国民体育大会・国民スポーツ大会に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
特別国民体育大会	令和5年10月7日～17日 ＜会期前実施＞水泳等：9月16日～24日	鹿児島県	532名
第78回国民スポーツ大会 冬季大会	＜スケート・アイスホッケー競技会＞ 令和6年1月27日～2月3日 ＜スキー競技会＞2月21日～24日	北海道 山形県	41名

(2) 北信越国体派遣事業

北信越国民体育大会等に、本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第44回北信越国民体育大会	令和5年8月25日～27日 ＜会期前実施＞カヌー等：5月7日～	新潟県	720名
第78回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和5年12月15日～17日	長野県	24名

3 スポーツ医科学サポート事業

(1) 医科学活用推進事業

成年・少年強化指定選手を対象に、スポーツ医科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートの実践を通して競技力向上を行った。

事業名	内容
スポーツ医科学に関する問診調査 およびメディカルチェック	国体出場選手（442名）に対し、アンケートを行った。 3名が個別受診し、精密な診察を受けた。
スポーツ医科学専門家の国体帯同 およびチームサポート	7競技9種別に8名のAPTを帯同したほか、別途本部役員として期間中本部に帯同。メンタルトレーナーのチームサポートについては6競技に対して行った。
福井県スポーツ医科学研究大会	令和5年11月19日 福井県医師会館にて開催

(2) 研修会等開催事業

国民体育大会に出場する選手を中心にドーピング防止教育や啓発を行った。また、競技団体や学校に心理、栄養、アンチ・ドーピング、女性アスリートサポートの出前研修会を行い、選手や指導者の意識高揚と知識の蓄積を行った。

研修会名	回数	参加者数等
アンチ・ドーピング研修会	3回	382名
(各種)出前研修会 ・メンタルトレーニング	130回	約150名

(3) 未来のアスリート発掘・育成事業 への医科学サポート

ふくいジュニアアスリートアカデミー選考会およびプログラムに各部会の専門家を派遣し、選考に係る測定結果の科学的分析や、アカデミー生、保護者への講義を行った。

部会	サポート項目	サポート内容
スポーツ科学部会	選考会測定協力 結果分析	専門機材を使った科学的な計測を行い、選考対象者（100名）の測定結果を多角的に比較分析し、評価の一翼を担った。 ふくいジュニアアスリートアカデミー受講生として34名を選出
スポーツドクター部会	プログラム講師	アカデミー生・保護者に対して、スポーツ医学、トレーニング科学、スポーツメンタルトレーニング、スポーツ栄養学の講義や実技指導を行った。 ジュニア期に必要な知識の伝達や実践を通して、意識の高揚を図り、アスリートとしての健全な成長をサポートした。 スポーツ医学（性とアスリート）：1回 実技トレーニング：7回 メンタルトレーニング：9回（保護者向け：3回） スポーツ栄養学：5回（保護者向け：1回）
スポーツ心理部会		
スポーツ栄養部会		

4 競技会開催事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業

気軽に参加できる幅広いスポーツ活動の実践の場を提供し、競技スポーツおよび生涯スポーツの普及・振興を図るため、県内各地において「県民スポーツ祭」を開催した。

区分	開催期日	開催地	参加者数
68 競技・種目 (内、66 競技・種目を実施)	令和5年4月～令和6年3月	県下各地	28,559名
総合開会式 みんなでスポーツフェスタ	令和5年7月8日	福井県営体育館	552名
スポカル FUKUI2023	令和5年12月9日～10日	サンドーム福井	6,508名

5 関係団体育成事業

(1) スポーツ振興事業

本会正加盟の市町スポーツ協会や競技団体等が行うスポーツ普及振興事業に助成した。(64団体)

(2) スポーツ少年団育成事業

第 58 回福井県スポーツ少年大会は、コロナ禍以前の体制で 4 年振りに開催することができ、県内全域から団員および関係者総勢 2,224 名の参加があった。指導者養成事業は、県内各地で 4 コース開催し、計 108 名が受講した。指導者の資質向上ならびに母集団の組織整備等についても県外講師を招き実施した。

令和 5 年度の福井県スポーツ少年団の登録は、団数 392 団、団員数 7,243 名、指導者数 1,168 名、役員・スタッフ 714 名となった。

事業名	内容
創立 60 周年記念事業	<p>①特別表彰の実施 永年にわたりスポーツ少年団の育成指導等に尽力された方（14 名）に特別表彰を行った。</p> <p>②記念誌の発刊 平成 25 年～令和 4 年度までの 10 か年を振り返り、記念誌を作成した。</p>
第 50 回日独スポーツ少年団同時交流事業	<p>日独両国の友好と親善を深めるため、スポーツ少年団の青少年および指導者が相互交流を行っており、令和 5 年度は、本県の団員 1 名が派遣に参加した。</p> <p>（令和 5 年 7 月 25 日～8 月 14 日）</p>
第 58 回福井県スポーツ少年大会	<p>県内のスポーツ少年団員が一堂に集まり、スポーツ活動を通して団員相互の交流と友情を深め、スポーツ少年団員としての誇りと自覚を高めた。</p> <p>・令和 5 年 9 月 3 日 坂井市、あわら市 団員：1,345 名、引率者：879 名 合計 2,224 名</p>
指導者および育成母集団研修会	<p>指導者および団員保護者に対して研修会を開催した。</p> <p>・令和 5 年 9 月 30 日 大野市文化会館 35 名</p>
スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	<p>スポーツ少年団向けの指導者資格養成講習会を開催した。</p> <p>・令和 5 年 10 月 14 日 結とびあ 18 名 ・令和 5 年 11 月 4 日 上志比文化会館 29 名 ・令和 5 年 11 月 25 日 美浜町総合体育館 25 名 ・令和 5 年 12 月 16 日 南越前文化会館 36 名</p>
アクティブ チャイルド プログラム（JSPO-ACP）普及推進研修会	<p>アクティブ チャイルド プログラム（JSPO-ACP）を周知・普及するため、指導者や保護者、教育関係者に対して研修会を開催した。</p> <p>・令和 5 年 12 月 9 日 アイシンスポーツアリーナ 14 名 ・令和 6 年 1 月 20 日 高浜町中央体育館 12 名 ・令和 6 年 2 月 17 日 丸岡体育館 22 名</p>
第 54 回北信越ブロックスポーツ少年大会	<p>将来指導者となることが期待される団員が集まり、レクリエーションや体験活動を通じて資質向上や友情を培った。</p> <p>・令和 5 年 8 月 4 日～6 日 奥越高原青少年自然の家 66 名（福井県 34 名）</p>

(3) スポーツ指導者協議会育成事業

県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰」の推薦や、機関誌「協議会だより」を発刊、スポーツ指導者研修会を開催した。

令和5年度の福井県スポーツ指導者協議会の会員は、2,928名となった。

(4) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用サポートや、クラブ運営につながる研修会の開催などを通じて、安定・自立したクラブづくりを支援した。

事業名	内容
総合型地域スポーツクラブ強化支援事業	①育成支援 総合型クラブ運営スタッフや市町行政担当者を対象に、部活動の地域移行に関して市町行政や県内クラブの事例発表を開催した。 ・令和5年12月13日 福井県営体育館 36名 ②市町連携支援 総合型クラブ運営スタッフや市町行政担当者を対象に、スポーツ庁による総合型クラブ活用に向けた講演や、スポーツ安全保険の紹介を行った。 ・令和5年6月23日 福井県営体育館 32名
登録認証支援事業	総合型地域スポーツクラブ全国協議会の登録クラブにするために、実地審査や登録審査委員会を開催した。 令和6年度登録クラブ：24クラブ
機能強化支援事業	総合型クラブ連絡協議会に対し、認知度向上や会員拡大に向けたイベントの事業費を補助した。
クラブアドバイザー配置事業	総合型クラブの創設や活動・運営がスムーズに行えるよう、クラブアドバイザーを配置し、巡回指導などを行った。
地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業	地域のスポーツ環境の基盤を強化するため、関係者による会議や、現場に携わる方同士の意見交換会等を実施した。 連絡会議2回、意見交換会・研修会3回

6 スポーツ指導者育成事業

(1) スポーツ指導者養成講習会事業

県内スポーツ指導者が適切・効果的な指導方法を学ぶため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得講習会を開催した。

資格種類	講習会名	受講者
競技別指導者資格	コーチ1養成講習会（ソフトテニス）	18名
	コーチ1養成講習会（弓道）	18名

(2) スポーツ指導者研修会事業

県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会の協力を得て研修会を実施した。

研修会名	開催期日	開催場所	参加者数
越前市スポーツ指導者研修会	令和5年11月26日	市民プラザたけふ	25名
福井県スポーツ指導者研修会	令和6年2月23日	福井県生活学習館	322名

7 広報・情報提供事業

(1) 広報普及活動事業

国際大会や国体等における本県選手の活躍、事業活動内容、各種表彰等を広報するため、「スポ協ニュース」を発刊した。(3回計4,700部)

(2) スポーツ情報公開事業

ホームページやSNS等を活用して、当協会に関する情報を積極的に公表するとともに、当協会の諸事業活動を周知した。

8 国際交流事業

(1) 日韓スポーツ交流・成人交歓交流

本会が日本スポーツ協会等との共同開催により、日本スポーツマスターズ開催年に併せて、日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行った。

区分	交流日	開催地	参加者数
派遣	令和5年4月27日～5月3日	大韓民国 慶尚北道	日本選手団129名 (内、福井県105名)
受入	令和5年9月14日～20日	日本 福井県	韓国選手団170名

9 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

表彰名	対象者	実施期日	受賞者数
スポーツ功労者賞 スポーツ功労団体賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人・団体	令和6年1月	20名
優秀選手賞	当年内に、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	令和6年1月	197名
優秀指導者賞	前項の優秀選手を育成した指導者	令和6年1月	4名
国民体育大会賞	当年国体で、天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	令和5年12月	300名 2チーム 36団体
特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した者	令和6年1月	3名 2団体

10 その他

(1) 都道府県体育・スポーツ協会連合会中地区事務局長研修会の開催
本会が幹事県として研修会を開催した。(令和5年11月7日～8日)

(2) 全国大会、ブロック大会および県大会の共催・後援
本会加盟団体等の主催大会に名義共催・後援した。(計66回)

(3) 安全管理の強化の取り組み

「国民体育大会参加者傷害補償制度」「加盟団体の賠償責任保険」「スポーツ安全保険」への加入を促進した。

(4) スポーツ安全協会普及等業務

令和4年度より、スポーツ安全協会普及等業務を本協会を受託している。スポーツをされる方々が安心して活動できるよう、普及広報に努めた。

【令和5年度本県加入実績】

対象活動	加入区分	加入者数
中学生以下のスポーツ・文化活動	A1・AW	32,613名
高校生以上の文化活動等	A2	2,875名
65歳以上のスポーツ活動	B・BW	4,412名
高校生以上のスポーツ活動	C・CW	14,106名
危険度の高いスポーツ活動	D	0名